

# 92歳の パリジェンヌ

旅立ちを決めた母と、  
手を差し伸べた娘。  
フランスの心を震わせた  
実話から生まれた  
感動作！

フランス映画祭2016  
エールフランス  
観客賞受賞!

サンドリーヌ・ボネール

「親密すぎるうちあけ話」

マルト・ヴィラロンガ

「私の好きな季節」

監督・脚本：パスカル・ブザドゥー

©2015 FRENCH FILMS - WILDBIRCH - FRANCE 2 CINEMA - FANTASIES FILMS

原案：ノエル・シャトレ「最期の教え」(青土社刊)

配給：ギャガ GAGA★

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

[gaga.ne.jp/92parisienne](http://gaga.ne.jp/92parisienne)

30th GAGA★



92歳のパリジェンヌのチャームな生き方に、  
各界から絶賛の声!!!



「この先、あなたにできることは死ぬことだけ」「死にたいの!」「棺桶も自分で閉めるつもり?」  
**こんな物騒なセリフの飛び交う映画がなぜこんなに切なく愛おしい?**  
金原瑞人さん(翻訳家、法政大学教授)

賛否はあるでしょうけど、別れも含めて  
**わがままで自由に最後を選べたらどんなに良いかと私も思いますが…ウフフッ……**  
風吹ジュンさん(女優)

この国の医療は進歩したが、本当に高齢者を幸せにしたのだろうか? そんな問いに、見事にこたえるかのような  
**パリジェンヌの姿に「僕は魅せられた!」**  
伊藤隼也さん(医療ジャーナリスト・写真家)



経験したことのない「哀しい感動」に、滂沱の涙。強い共感と、厭わしさがせめぎ合う、どこまでも切なく完璧な問題作はむしろ  
**生きる意味を探している人こそ絶対に見るべきである!**  
齋藤 薫さん(美容ジャーナリスト/エッセイスト)

**泣いて長生きするよりも笑って死にたいときもある。**  
92歳の母親を息子娘はどう受け止める? 笑いが涙か溜息か。花の巴里の人生模様。  
浜村 淳さん(映画評論家)

「落とさないで、しっかり抑えて」。少し臆病な娘が老いた母を支えるシーンがあまりに美しすぎて、  
**死をめぐる旅であることさえ忘れてしまった。**思い出した頃、娘と母は明るい部屋で、とびっきり美味しそうランチを食べていました。すべての娘と息子に、薦めたい映画です!  
ロバート キャンベルさん(東京大学大学院教授)

**誰もが美しい死を望む。けれどもそれが難しい。**揺るがない信念だけがそれを可能にし、美しい死を崇高なものに高めていく。  
島田裕巳さん(宗教学者)

**STORY** 「今まで本当にありがとう。幸せな人生だわ」。92歳の誕生日パーティ、主役のマドレーヌのスピーチは感謝の言葉で始まった。だが、その後に続いた宣言に耳を疑う家族。「2か月後の10月17日に私は逝きます——」。こうして家族の波乱の日々が始まるが、母と会話を重ねるうちに、娘は次第に母の生き方やその強さに心を動かされていく——。

**散り際に汚点を残さず、自らの価値観で生を閉じる。**この映画は命の尊厳の美名に隠れた、もう一つの命の尊厳を率直に問いかけてくる。  
志茂田景樹さん(作家・よいちに読み聞かせ隊隊長)

女性が紅をさし、髪をすくしぐさは、若い頃と何ら変わりはありません。それは女性の本能、それともプライド? 老いと共に、体の自由を奪われ、気力も失いつつある主人公。しかし、彼女の信念や生き様が、自らの選択を導き出しました。  
**私が熱望する人生の仕舞い支度をこの映画に見ました。**  
佐伯チズさん(美容家)

家族一人一人の気持ちがよく理解出来、**考えさせられました。爽やかさが残りました。素晴らしい映画でした。**  
吉行和子さん(女優)

老いを生きる家族の、言葉や体から発せられる想いを、せめて同じ目線で受け止められれば……。  
**生き方に方程式はないのだから。**  
石丸幹二さん(俳優)



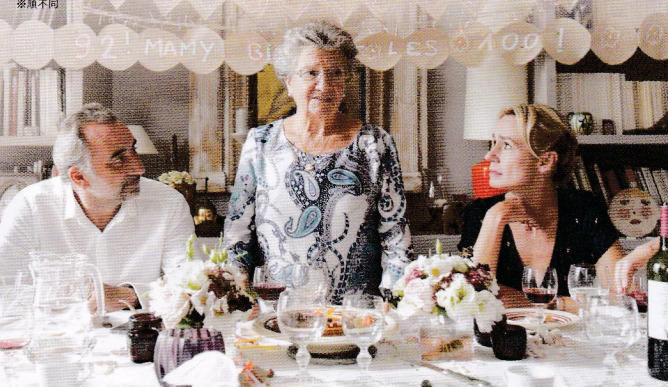
「死」とは定期的に考えているものとは言え、いざ意識してみると恐ろしく感じますが、  
**死を敗北ではないと言う視点を普段僕たちは中々持つ事はできないけど、こうした映画を通して客観的にみるとそれまで見なかったものが見えてくる気がします。**  
栗原 類さん(モデル、俳優)

誇りと尊厳を抱いたまま生を全うするために、人生を医療や家族まかせにしない。  
**自分らしい幕引きを考えるきっかけとなった。**  
森田 豊さん(医師・医療ジャーナリスト)



気力のあるうちに死にたい……。母親に告げられたら私はどうするだろうか。92歳のマドレーヌの弾ける笑顔に生きること、  
**命について深く深く考えさせられた。**  
安藤優子さん(ニュースキャスター)

**いくつになっても、私の人生は私のもの!** 生きる勇気がわいてくる名作。  
香山リカさん(精神科医)



10月29日(土)シネスイッチ銀座、109シネマズ川崎、シネマジック&ベティ他にて全国順次ロードショー

**BRASSERIE AUX BACCHANALES**

フレンチオープンカフェ「AUX BACCHANALES」では、映画半券1枚につき、2000円以上のご利用でコーヒー1杯プレゼント!

期間: 10/29(土)~11/18(金)

実施店舗: AUX BACCHANALES 銀座  
http://www.auxbacchanales.com

**PAUL** depuis 1889

フランス発の老舗パン屋「PAUL」では、映画半券1枚につき、1000円以上のご利用でクロワッサン1個をプレゼント!

期間: 10/29(土)~11/18(金)

実施店舗: 6店舗(四谷・六本木・神楽坂・あざみ野・青葉台・玉川)  
http://www.pasconet.co.jp/paul/

**MARIAGE FRÈRES** Depuis 1824

フランス流紅茶専門店「メゾン マリアージュ フレール」では、映画をイメージしたおすすめのお茶銘柄とお茶を使ったケーキのセットをお楽しみください。  
金額: 2100円(税抜)

期間: 10/26(水)~11/6(日)

実施店舗: 銀座本店  
http://www.mariagefreres.com

**ENOTECA** For All Wine Lovers

ワインショップ「エノテカ」では、お食事をして頂いた方に映画半券でグラスワインのサービス。映画を観たあとは、ワインショップ・エノテカ カフェ&バー エノテカ・ミレで、美味しいワインをお楽しみください。

※一枚につき2名様まで。  
※グラスワインの内容は赤、白、スパークリングワインの中からいずれかで、店舗からのおすすめとなります。 ※半券のみのご利用は不可となります。

期間: 10/29(土)~11/27(日)

実施店舗: ワインショップ・エノテカ銀座店 カフェ&バーエノテカ・ミレ/ワインショップ・エノテカグランフロント大阪店 カフェ&バーエノテカ・ミレ  
http://www.enoteca.co.jp/shop/shop-all

**ル ブルターニュ**

「ブルツカフェ クレープリー」では、映画半券持参でノンアルコールシールド(250ml: 550円相当)をプレゼント。

期間: 10/29(土)~11/27(日)

実施店舗: 銀座店・川崎店  
http://www.le-bretagne.com/

原案本  
**「最後の教え 92歳のパリジェンヌ」**

新装版で発売中! 自身の死の期日を明言した母が「尊厳ある死」へと旅立つ様子を挿した作品。母の強い信念と、複雑にせめぎ合う娘の感情が、淡々と飾らぬ筆致で描かれている。

ノエル・ジャレ著  
相田淑子・陣野俊史訳  
本体 2000円 青土社